



## 中間反抗期

校長 吉丸 清昭

中学年から高学年にかけての子どもは、それまでの家庭を中心にした生活から、友達を中心にした生活や友達から影響を受ける生活へと変わっていきます。親が「買い物へ行こう」「どこかへ連れていくよ」と誘っても、それを断って友達との時間を選択するようになります。親の意見よりも友達の意見を大切にし、親からこまごまと干渉されることを嫌がって、親から離れていくようになるのです。親が意見や小言を言ってもうるさがられるだけで、あまり効き目がありません。親はさびしさを感じるようになります。

また、親離れが始まると、口答えするようにもなってきたり注意や叱責に反抗してきます。この時期は自分の悪さを指摘されると、何だかんだと理屈をつけて言い訳・言い逃れをする知恵を働かせます。その反発に戸惑ったり苛々したりすることもあるでしょうが、これは我が子が精神的に成長してきた証です。口答えは一種の反抗期であり成長段階の一段階と捉えられ、この時期の子どもにあることが自然なことなのです。これは自立の裏返しで、これも親離れしていく過程にみられます。自分で考え判断し行動する独立心・自立心が芽生えてきた証拠とも言えます。

欧米では子どもに素直さを求める親は少なく、自己主張ができる子を望み、我が国とは対照的だと言われています。日本では子どもの自己主張を我儘と判断しがちです。口答えは自発性が発達してきたということであり、親が無理に抑えて従順な良い子ちゃんに育てると、青年期になって独立した行動がとれなかったり、小さなショックを受けただけでふさぎこんだり家庭内暴力を起こしたりする事例が見られることもあります。

では、この時期に親はどのようにすればよいのでしょうか。やはり、頭ごなしに抑えるのではなく、YES（なるほど）と認め、次にBUT（しかし）と親の考えを述べるのが大切なようです。『YES→BUTの対応』で、「なるほど」と子どもの主張に最初は耳を傾け認め、次に親の主張を最後まで筋道を通して述べます。子どもが「なるほど」と理解し納得できるように語り合います。ムキになって対立してはいけません。余裕をもって受け入れる寛容さが大切です。

厳格にしつけるとは、子どもの口答えや主張を抑えることではありません。子どもの中に、こんなことをしたら親が悲しむだろう、心配するだろう、嫌な思いをさせるだろうという気持ちを抱かせ、自分がどう行動すべきか考えさせることが親の役目です。他人を思いやり、自己規制できる行動ができるようにしつけていくことこそこの時期に重要なことです。

遅しく自立できるよう、うまい案配でその時期を家庭でも学校でも育ててまいりましょう。

# 12月の行事予定

日	曜	行 事	補 習	桐 っ 子	日	曜	行 事	補 習	桐 っ 子
1	日				17	火	5時間 避難訓練（集団下校）		2年
2	月	全校朝礼 委員会		3・4・ 5・6年	18	水	4時間 あだちからの日 たてわり班遊び		
3	火	たてわり班会議		2年	19	木	アートエデュケーション プログラム（5） オーケストラ鑑賞教室 （6）	○	
4	水	4時間			20	金	児童集会 アートエデュケーション プログラム（5）	○	3・4・ 5・6年
5	木	B時程5時間			21	土			
6	金	集会			22	日			
7	土	土曜授業 持久走大会 PTA関っ子フェス			23	月	全校朝礼 B時程 4時間（1～3，青） 5時間（4～6） 保護者会		
8	日				24	火	4時間		
9	月	全校朝礼 持久走大会予備日		3・4・ 5・6年	25	水	全校朝礼 4時間 給食終		
10	火	安全指導日 たてわり班遊び お誕生日給食 （12月生まれ）	○	2年	26	木	冬季休業始		
11	水	B時程4時間 清掃活動（4～6）			27	金	あだちからの日		
12	木	笑顔と学びの体験活動 プロジェクト（4～6）	○	3・4・ 5・6年	28	土			
13	金	社会科見学（6）	6年 以外	3・4・ 5・6年	29	日	年末年始休		
14	土	土曜チャレンジ教室			30	月	年末年始休		
15	日				31	火	年末年始休		
16	月	全校朝礼 芸能鑑賞教室（4，青） クラブ活動		3・4・ 5・6年					

## 新春ラジオ体操のご案内 令和7年1月5日（日）8：00 本校校庭

足立区ラジオ体操連盟主催の新春ラジオ体操が関原小学校校庭にて行われることになりました。夏の関原2丁目町会主催のラジオ体操が盛況だったことを受けてのことだそうです。関原小学校児童・兄弟・保護者、遊びに来ている親戚の方皆様参加できます。お待ちしております！